

静岡県漁業協同組合連合会  
1134 静岡市追手町 9-18  
17.3.11 ☎ 054-254-6011  
編集・発行 = 指導部漁政課

## 1. 仁科浜漁協長鈴木一義氏ご逝去

仁科浜漁協代表理事組合長鈴木一義氏が2月27日18時ご逝去なさいました。享年72歳。故鈴木一義氏は、天草・磯魚刺網漁業に従事する傍ら民宿を経営、漁具・漁法の改良に取り組み、地域水産業の振興発展に中心的な役割を果たされ、漁家の生活安定と漁業向上に寄与するなど長年に亘り本県漁業界の発展に尽力されました。

ここに故鈴木氏の功績に感謝を捧げるとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

## 2. 第10回全国・青年女性漁業者交流大会開催

去る3月7日～8日の両日、東京・虎ノ門パストラルにおいて、第10回全国青年・女性漁業者交流大会が全国の青年・女性漁業者等約600名の参加のもと盛大に開催されました。

当日は全国から54グループが参加し、資源管理・資源増殖部門 漁業経営改善部門 流通・消費拡大部門 地域活性化部門 多面的機能・環境保全部門 の5分科会に分かれ、浜の活性化を目指した日頃の研究成果や実践活動について発表しました。

本県からは、松崎町漁協雲見支所青壮年部(発表者：高橋英男氏)が第4分科会の地域活性化部門において「ブルーツーリズムに取り組んで」と題して、また、由比港漁協女性部(発表者：原千晴氏)が第5分科会の多面的機能・環境保全部門において「サクラエビを守っていくために今私たちにできること」と題して、夫々日頃の成果を堂々と発表しました。その結果、松崎町漁協雲見支所青壮年部、由比港漁協女性部が夫々の部門で全漁連会長賞を受賞しました。

## 3. 「認定漁協制度」残り1年

国は13年度から、水産基本法の「理念」の実現に向け漁協合併を推進し、水産業の新たな課題を担うことのできる基盤を備えた漁協を育成することを目的とした「認定漁協」制度をスタートしています。

合併の全国構想を踏まえ国は「認定漁協」の目標数を120とし、17年2月現在で28道府県110JFが認定されています。この間、合併により17年度までに「認定漁協」とする計画を推進している県や、県1漁協を実現して「認定漁協」に取り組む県もありますが、現状では県間の格差が大きく、認定漁協のない県が約3割あります。

一方、国は「認定漁協」への合併支援策として欠損金などにかかる借入金への利子補給事業やコンピューター導入支援に加え、16年度からは「漁業経営構造改革事業」にかかる認定漁協への重点支援が、17年度からは合併後の認定漁協などの事業改革の取り組みに対する「長期運転資金」の利子補給が新たに措置されました。

しかし、水産庁は17年度で期限切れとなる「認定漁協」施策について、一貫して「認定漁協制度の単純延長は不可能で、事前認定が可能として早期の取り組みを促すべきだ」との姿勢で、今後は合併後、漁協の事業改革を促す施策の方向を強めようとしています。

そのため、17年度の期限切れを控え、昨年9月に実施した全漁連・合併推進全国会議で

も「18、19年度中に合併が確実となる場合は、17年度中に『基盤強化計画』の知事認定を事前に受けること。そのためには、各地区組合の総会レベルでの決議と関係組合長の『合併契約書』が必要である」として、事前認定対策を進めていくことを確認しています。

また、認定漁協制度の単純延長が困難な状況の中で、合併協議中の所は協議のスピードを上げ、事前認定への取り組みを強める必要があり、一方、認定漁協制度が延長されない場合、合併構想の最後の仕上げとなる18、19年度において、構想の確実な実現を促す強力な支援策に向けて、JFグループを挙げて運動を図る必要があるとしています。

## 4. 全国海水養魚シンポジウム開催

全国海水養魚協会では、去る2月23日「豊かな海から届けよう安全・安心!!」をテーマに第30回全国海水養魚シンポジウムを開催しました。

このシンポジウムは、豊かな海を育み、美味しく安全な養殖魚を計画的に生産するためにどうすべきか、講演や分科会を通して議論しようというものです。

シンポジウムでは高知大学農学部盛岡助教授が「養殖魚の品質～その評価と制御(コントロール)について」と題して基調講演を行ないました。この後、3つのテーマで分科会が開かれました。第1分科会「養殖魚について語る」では、下関私立大学経済学部濱田教授を座長にパネルディスカッションが行なわれ、第2分科会「計画生産の実現に向けて」では、ハマチ、カンパチ、マダイの生産尾数削減を決め、第3分科会の「豊かな海を育むために」では、餌料から見た環境への汚染負荷削減について議論しました。閉会式では、次回開催県の熊本県へ大会旗が引き継がれました。

## 5. 協同組合間提携推進協議会第13回シンポジウムを開催参加者募集

昨年は日本のみならず世界各国で異常気象現象が発生し、その主な原因は地球の温暖化にあるとされています。また、ロシアが京都議定書の批准を行い、本年2月より京都議定書が発動され、今後官民間問わず地球温暖化対策に取り組むことが義務付けられました。

こうした状況の中で、地球温暖化と私たちの事業や生活との関連について学習し、取り組み方向について議論しあう場として例年、協同組合間提携推進協議会(JA、生協、森組、JF)に参加する団体を中心として開催している本シンポジウムを下記により開催することになりましたのでお知らせいたします。

今回は公開座談会に吉田町漁協久米勇組合長が異常気象による漁業への影響等について意見を述べることになっていきますので多くの漁業関係者が参加されますようお願いいたします。開催日時：平成17年3月28日(月) 午前10時30分～午後3時まで

開催場所：静岡市紺屋町「ブケ東海」 テーマ 「環境問題(地球温暖化)と協同組合の事業を考える」 講演 「地球温暖化と農業・林業の未来」「地球温暖化と漁業の未来」「地球温暖化防止への静岡県の取り組み」 公開座談会

## 6. 諸会議日程(3月15日(火)～3月28日(月))

- 既報分省略 -

3月22(火)～23日(水) 県漁連 = 漁協新職員研修会 (県水産会館)

3月24日(木) 県漁連 = 指導対策委員会 ( " )

" 県旋網漁業者協会 = 通常総会 (伊豆長岡)